

お子さんのいきいきとした 自然な表情を撮る、望遠機能

元気に遊ぶお子さんの撮影で、使い方を知っておくと便利なのが望遠機能。少し離れた場所から撮ることができるので、背景も収めながら、お子さんを意識させることなく自然な表情を撮ることができます。望遠機能の良さを十分に知って、いきいきとしたお子さんの写真をたくさん残しましょう。

鈴木啓太さん

コマーシャルスタジオ「OFFICE KEITA」
主宰。広告写真を全般に、雑誌や新聞
なども手掛けるフォトグラファー。人物
からモノ、風景、食までジャンルを問わ
ず幅広く撮影する。小学校に通う6歳の
女の子のイクメンパパ。



運動会や七五三、行楽など、お子さんの写真を撮る機会が増えるこの季節。秋の高く澄み渡った空や、赤く色づく山など、遠くに見える景色も一枚の絵（写真）の中に収めたいものですね。そんな時にはカメラ（レンズ）の「望遠機能」を活用してみましょう。

「望遠機能」の魅力は、遠くにあるものを「近くに引き寄せられる」こと。この効果を利用すると、まるで遠近感が薄まったように遠くにあるものを大きく写すことができ、いつもとは違う「1枚」に仕上がります。また、「望遠機能」を使った撮影には、被写体に近寄らずにシャッターが切れるというメリットもあります。特にお子さんを撮影する際には、カメラの存在を意識させない“ほどよい距離感”を作ること、より自然な表情を写真に収めることができるはず。

「望遠機能」を使った撮影というと難しく聞こえますが、実はとてもシンプルなこと。スマートフォンなら画面を親指と人差し指でつまむように触ると表示されるズー

ム機能（ここでは「+」マーク）のことで、一般的なコンパクトデジカメであれば、どの機種にも付いている「望遠モード」を選択すればOKです。カメラやスマートフォンで「望遠機能」の設定ができれば、①液晶ディスプレイで確認しながら背景を選び、②子どもが入るスペースをイメージして構図を決定、③カメラを三脚で固定、④フレーム内にお子さんを誘導、という流れで撮影しましょう。より自然な表情を引き出すためのコツは、カメラを向けられていると気づかせないこと。カメラとは違う位置からパパが話しかけたり、フレームの外に興味のあるものを置いてみたり、いろいろと工夫をしてみてください。あらかじめ自分が入るスペースを考えておき、セルフタイマー機能を使って撮影する“自然な親子写真”もおすすめです。

